

第5学年1組 社会科学習指導案

指導者 瑞穂小学校 鈴木 薫

1 小单元名 さかなの宝庫、千葉

2 小单元について

本单元は、学習指導要領内に位置づけられた第5学年の目標（2）にある「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。」に該当する单元である。この单元での主な学習内容は、「我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。」ことである。

本单元のねらいは、「様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあることを理解できるようにするとともに、我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色をおさえ、食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを考えることができるようにする。」ことである。

児童はこれまで、国土の地形の特色や気候の特色と人々の関係について学習してきた。また第4学年では、「特色ある地域と人々の暮らし」と「県の広がりや発展」で、千葉県の産業の特色について調べ、地域の生産活動を通して地域社会に対する理解を深めてきた。それを踏まえて、本单元からは我が国の食料生産と国民生活の関係について学習を進めていく。

本学級の児童は、社会科の学習はおおむね好きであるが、積極的に地域社会にかかわろうとする児童は少ない。しかし指示された課題はしっかりと最後まで丁寧に取り組むことができ、素直で学習意欲も高い。このような実態から、地域や千葉県、日本についての興味関心をさらに高め、社会科で学習したことは自分たちの身近にあることだと実感させたい。この小单元の学習を通して、日本の食料生産はそれにかかわる人々の工夫と努力で支えられていることに気付かせ、食料生産の課題や将来像を考えさせていきたい。社会科で学んだことを実生活で役立てられる子どもになってほしい。

そこで指導に当たっては、まず单元構成を工夫した。水産業の学習は、教科書では静岡県を事例に取り上げているが、本学級では千葉県を事例とした。千葉県も日本の漁業の縮図となる漁業の盛んな県である。千葉県の漁業を扱うことで、漁業になじみのない児童でも、知っている地名や行ったことのある漁港が私たちの食生活に関係していることに気付き、漁業に興味をもつことができるだろう。「千葉県の水産業」の学習を通して、私たちが毎日食べている魚や水産加工品は水産業にかかわる人々の工夫や努力によってもたらされていることを実感し、そこから千葉だけでなく我が国の水産業についての理解を深めることができると考えた。

学習の導入では、船橋漁協の漁師さんをゲストティーチャーとして招聘したり、かつおの本枯節を見せて鰹節の出し汁を試食したりする活動を行う。これによって漁業に対する学習意欲を高めたい。調べる学習では、魚をさばいて見せたり、かつおの一本釣り漁法の釣り竿を見せ一本釣り体験をさせたり、船橋三番瀬海苔を試食したりする活動を行う。そうすることで、漁業について興味をもって調べ、実感を伴った理解が得られるようにしたい。また、千葉県の漁業関係者からビデオレターをもらい、漁業の苦労や努力などを聞いて、社会と積極的にかかわる機会を作りたい。学習のまとめでは、導入で話をいただいた漁師さんに手紙を書き、自分たちが漁業を学習して漁業の工夫や苦労、努力、今後の課題についてわかったことや考えたこと、これから自分たちはどのように行動していきたいかを伝える活動を行う。これによって、社会科で学ぶ事柄を自分に関係することと捉え、社会と積極的にかかわっていく子どもを育てたい。

3 児童の実態 (男子15名 女子20名 計35名)

① 社会科の学習は好きですか。(選択)理由も書いてください。(選択/複数回答)

好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い
16名	14名	5名	0名

<好き・どちらかという好き>

- ・見学に行くのが楽しい(24) ・新しいことを知るのが楽しい(16) ・新聞を作るのが楽しい(10)
- ・調べるのが楽しい(20) ・話し合うのが楽しい(11) ・グラフや表を読むのが楽しい(7)
- ・絵や写真を見るのが楽しい(17) ・ノートをまとめるのが楽しい(10) ・考えをまとめるのが楽しい(6)

<どちらかという嫌い・嫌い>

- ・調べるのが苦手(3) ・ノートをまとめるのが苦手(2) ・絵や写真を見るのが苦手(1)
- ・話し合うのが苦手(3) ・新聞を作るのが苦手(2) ・考えをまとめるのが苦手(1)

② 社会科ではどのような学習をしたいですか(選択/複数回答)

- ・実際に見学に行く(31) ・関係者にインタビューする(18) ・調べたことを発表する(10)
- ・図書室やインターネットで調べる(22) ・班の人と話し合う(12) ・考えや予想をノートに書く(6)
- ・新聞やパンフレットにまとめる(19) ・調べたことをノートにまとめる(11) ・学習問題をたてる(6)

③ どうして社会科を学習するのだと思いますか。(自由記述)

- ・日本のことをよく知るため(9) ・大人になるため(4) ・日本と外国を知るため(2)
- ・大人になった時のため(6) ・社会(世の中)のことを知るため(3) ・将来外国に行くから(2)
- ・働く(社会に出る)時のため(5) ・これからの生活に役立つ(2) ・日本の将来を良くする(2)

④ 次の魚を知っていますか

魚の絵	名前は?	魚の絵	名前は?
カツオの写真	◎カツオ(17) ×タラ(2)、ホッケ、アジ、カレイ、マグロ 無回答(16)	サンマの写真	◎マダイ(タイも○)(28) ×キンメダイ(4) 無回答(3)
サバの写真	◎サバ(2) 無回答(14) ×スズキ(5)、アジ(5)、カツオ(2)、サ ンマ(2)、サケ、アユ、マダラ、コハダ	マダイの写真	◎ヒラメ(23) ×カレイ(10)、タイ(2) 無回答(0)

⑤ 魚を食べるのは好きですか。(選択)好き(16)/やや好き(15)/やや嫌い(2)/嫌い(3)

⑥ 魚は私たちにとって、無くてはならない大切な食べ物だとおもいますか。

A好きで、無くてはならない	B好きだが、無くてもよい	Cきらいで、無くてもよい	D嫌いだが、無くてはならない
23名	5名	0名	4名

<Aの理由>栄養がある(12)/おいしい(9)/日本人・日本食には大切(9)/魚を食べたい(7)/
漁師の仕事が無くなる/海がさびしくなる/いつでも食べられる

<Bの理由>たくさん食べて飽きた/魚が無くても生きられる

<Dの理由>みんなが好き/栄養が偏るから食べたほうがよい/魚は大切な資源

⑦ 魚を釣ったことがありますか。(選択)はい(15)/いいえ(12)/釣っている人を見たことがある(6)

⑧ ⑦で「はい」の人は、どこで釣りましたか。(選択/複数回答)

海(崖や岩場)(7)/海(船)(5)/川(10)/池(6)/いけす、水槽、釣り堀(5)

- ⑨ 潮干狩りをしたことはありますか。 はい(20)／いいえ(15)
- ⑩ 親戚や知り合いに水産業にかかわる人はいますか。 はい(3)／いいえ(32)
- ⑪ 水産業にかかわる人と話したことはありますか。 はい(7)／いいえ(28)
- ⑫ 次の言葉を知っていて説明できますか。
- 「養殖」 説明できる(7：うち正答6)／聞いたことはある(21)／初めて知った(7)
- 「栽培漁業」 説明できる(7：うち正答5)／聞いたことはある(11)／初めて知った(17)

<考察> 実態調査から、社会科の学習に意欲的に取り組んでいることがわかった。特に児童は見学やインタビューといった体験活動が好きである。そして社会科を学ぶ意義は十分に理解している。

また、水産業にかかわる人と接する機会はあまりない実態ではあるが、体験活動が好きで、インタビューをして人とかかわりたいという意欲がある。そこで、多くの水産業にかかわる人々の生の声でその工夫や努力などを児童に届けたり、児童から出た疑問をビデオレターで送って水産業にかかわる人から返事をもらったりするなど、社会とかかわる活動を設けたい。

さらに、魚についてはよく食卓に上っている魚でも、その姿を知っている魚と知らない魚があることがわかった。また学区のすぐ隣に花見川が流れており、川釣りを経験している児童が多いが、海釣りや釣りをしたことがない児童もたくさんいる。水産業の用語や仕事内容についても知らない児童が多い。そこで水産業の学習を通じて、実物の魚を見たりできるような体験的な学習を多く取り入れた授業展開にしていきたい。本単元で魚の大切さや日本の食生活を支えている水産業について具体的に理解させ、水産業に携わる人々の思いに目を向けさせたい。

4 小単元の目標

- 我が国の水産業に関心をもち、水産業が自然環境を生かして営まれ国民の食生活を支えていることや、水産物には外国から輸入しているものがあること、主な漁場の分布、水産業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどを理解するとともに、国民生活を支える水産業の発展について考えようとする。
- 我が国の水産業の様子から学習問題を見だし、地図帳や地球儀、統計などの資料を活用するなどして調べたことを白地図や作品にまとめるとともに、水産業の様子と自然環境や国民生活とを関連付けて思考・判断したことを適切に表現する。

5 小単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
○我が国の水産業の様子に関心をもち、千葉県を事例として意欲的に調べるとともに、国民生活を支える水産業の持続可能で安全な発展を考えようとしている。	○我が国の水産業の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、水産業と自然環境や国民生活とのかかわり、我が国の水産業が抱える問題、それらを改善し持続可能性や安全性を高めていくことについて思考・判断したことを適切に表現している。	○千葉県を事例として、我が国の水産業の様子について、地図帳や地球儀、統計など各種の資料を活用するなどして必要な情報を集めて読み取り、白地図や作品にまとめている。	○水産業に携わる人々が、自然環境を生かすなど様々な工夫をして生産したり、新鮮さを保ちながら輸送したりして国民の食生活を支えていることや、我が国は世界有数の水産国でありながら漁場の変化や水産資源の減少などの問題を抱え、養殖や栽培漁業、水産物の輸入が増えていることを理解している。

6 小単元の指導計画（11時間計画）

過程	主な学習活動と内容	時配
<p>大単元のめあてづくり (オリエンテーション)</p>	<p>スーパー「サミット」の売り場の見学—たべものふるさとさがし—</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わたしたちがふだん食べているものは、どこから来るのだろうか。</p> <p>○サミットの米、野菜、魚売り場を見学し、米、野菜、魚や水産加工品についてわかったことや調べたことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな食べ物が置いてあるか。産地はどこか、産地と値段の関係はあるのか、その他気付いたことをメモする。 ・疑問に思ったことを、店長さんに質問する。 <p>地図帳で調べる</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">さまざまな食料品は、どのような地域から運ばれてくるのだろうか。</p> <p>○食べ物の産地を白地図にまとめ、どのような地域で生産されているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の産地でとくに生産量の多い都道府県があることに気付く。 ・食べ物の産地について、調べたいことを話し合う。 ・本単元のめあてを作る。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>わたしたちの食生活は、食料生産に取り組む人々のどのような工夫や努力によって支えられているのだろうか。</p> </div>	<p>(2)</p>
<p>つかむ</p>	<p>学習問題をつくる</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">船橋の漁師の〇〇さんに千葉県漁業の話をお聞きしよう。</p> <p>○「船橋市漁業協同組合」の〇〇さんをゲストティーチャーに招き、千葉県漁業の話をお聞きする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの話を聞いて、漁業や魚について調べたいことや疑問に思ったことを考え、ノートに書く。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">千葉県ではどのようにかつおが水あげされているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつお節を提示し、かつお出汁の吸い物と出汁のない吸い物を試食する。 ・かつお出汁がないと日本食はおいしくないと知り、かつおは私たちの生活になくてはならないことに気付く。 ・勝浦の「かつお祭り」のビデオで漁師の〇〇さんの話を聞いて、かつおの釣れる海域や勝浦漁港のかつおの生産量、食べ方を知る。 ・漁業・養殖業生産量のグラフから、千葉県は20万8千トンで全国第6位であることを読み取り、千葉県は日本でも有数の漁業の盛んな県であることを知る。 ・前時の〇〇さんの話を想起し、千葉県漁業について調べたいことを話し合い、学習問題を立てる。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>千葉県の水産業はどのように行われていて、水産業にかかわる人はどんな工夫や努力があるのだろうか。</p> </div>	<p>2</p>

調 べ る	<p>とる漁業</p> <p>勝浦港のかつお漁にはどのような工夫があるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつおの回遊する範囲の図を読み取り、かつおの生態を知る。 <p>〇〇〇さんからのビデオレターを見て、かつお漁には、巻き網漁と一本釣りがあることを知る。</p> <p>〇かつお漁にはどんな漁法があるのかを調べ、かつお漁の違いや工夫について考え、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつお漁の釣竿で一本釣りの疑似体験を何人かが体験し、感想を発表する。 ・まき網漁と一本釣りのどちらがより有効な釣り方かを話し合う。 ・加工法によって釣り方を変えていることに気付く。 	2
	<p>千葉県で魚の水あげが多いのは漁港にどんな工夫があるからだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉産のいわしとまだいをさばいて魚の身の色を見せ、それぞれ浮き魚と底魚であることを説明し、千葉県の漁港ではさまざまな漁法でさまざまな種類の魚を獲っていることに気付く。 <p>〇銚子漁港の昨年(平成23年度)の水揚げ量が、静岡県焼津漁港を抜いて全国第一位(22万5千トン)になった記事を読み、銚子漁港が日本一の水揚げ量なのか、その理由を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銚子漁港の位置や環境、漁港の様子を調べ、冷凍したり加工したりする施設や工場が多いことに気付く。 ・勝浦漁港の水産加工工場のサラヤ保崎商店の〇〇さんのビデオレターを見て、漁港の近くにある水産加工工場の仕事や工夫、努力について知る。 	
	<p>水産業の変化</p> <p>水産業ではどのような変化が起きているのだろうか。</p> <p>〇漁業別の生産量、水産業で働く人、日本の水産物輸入量をグラフから読み取り、理由を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本全国でも千葉県でも、生産量、働く人が減少する一方で水産物の輸入量が増加していることに気付く。 ・200海里水域が決められ、漁場の制限があるので、遠洋漁業の生産量が減少していることに気付く。 ・はたはたの水揚げ量をグラフから読み取り、資源管理することの重要性を考え、つくり育てる漁業も行われていることを知る。 ・新しく出た疑問や調べたいことをもとに、学習計画の見直しをする。 	1
<p>作り育てる漁業</p> <p>木更津で水産業をしている〇〇さん、〇〇さんにのり養殖業の話进行こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの魚売り場にあった「養殖」と「天然」のバックを見せ、違う点を話し合う。 ・養殖業とは何かを確認し、赤潮などその問題点について調べる。 <p>〇木更津漁業協同組合の海苔養殖業の〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんをゲストティーチャーに招き、海苔養殖業の仕事内容について、話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海苔養殖業の方の話を聞いて、海苔養殖業についてわかったことや調べたいこと、疑問に思ったことをノートに書く。 	3	

	<p>のりの養しよく業をしている人たちはどのような工夫や努力をして、おいしいのりを作っているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、のり養殖業の仕事の流れを復習する。 ・木更津産の海苔を試食し、味や香りについて話し合う。 ・班ごとに海苔養殖業にかかわる人へのインタビュー内容を、相談してまとめる。 <p>○2つのグループに分かれ、インタビュータイムを行い、ゲストティーチャーの〇〇さん、〇〇さんから海苔養殖業について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに、養殖業をしている人の工夫や努力の中で、一番印象に残ったことを画用紙に書き、発表する。 ・のり養殖業にかかわる人は、丁寧な管理を行っておいしい海苔を作っていることを自分の言葉でまとめる。 <p>養殖業や栽培漁業をしている人たちはどのような工夫をしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、養殖業と栽培漁業の仕事の流れをつかむ。 ・養殖業と栽培漁業の仕事に携わる人の苦労や努力について予想する。 <p>○勝山漁協活魚センターの〇〇さん(マダイ、ヒラメの養殖業)と水産総合研究センター苗生産研究所の〇〇さん(マダイ、ヒラメの栽培漁業)のビデオレターを見て、漁業者の苦労や努力を発表し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の資源を育てることへの努力があることをおさえ、養殖業や栽培漁業によって水産業が支えられていることを自分の言葉でまとめる。 	<p>2 / 3 (本時)</p>
	<p>輸送のしくみ</p> <p>水揚げされてから、どのようにして消費地に運ばれるのだろう。</p> <p>○水揚げされたまだいが消費地に運ばれるまでの輸送の仕組みを確かめ、鮮度を保って輸送する技術について考え、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県水産総合研究センターの〇〇さんのビデオレターを見て、勝浦漁港や銚子漁港の運輸の便利さを知る。 ・市場では、早朝から仲買人によってせりが行われ、すぐに消費地に向けて輸送されることに気付く。 ・新鮮なまま届けるための輸送方法について自分の言葉でまとめる。 	<p>1</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ま い ご</p>	<p>漁業に対して自分なりの考えを持ち、伝える</p> <p>魚や海を守り、育てるための取り組みについて話し合おう。</p> <p>○漁業は、漁場環境や生態系に大きく依存する産業であることを想起させ、海を守るための工夫について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発に向けて、植林や魚つき保安林などの陸地の環境を守る取り組みがあることを知る。 ・私たちの食生活を支えている漁業を守るために、自分は何ができるか、話し合う。 <p>船橋漁協の〇〇さんにお礼の手紙を書き、自分の考えを伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業にかかわる人々の様々な工夫や努力が、国民の食生活を支えていることを振り返る。 <p>○「船橋市漁業協同組合」の〇〇さんに、学習してわかったこと、心に残ったこと、新たに疑問に思ったこと、漁業の印象の変化などを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した手紙をお互いに読み合い、感想を伝え合う。 	<p>2</p>

7 市教研社会科研究主題解明のための方策

市教研社会科研究主題

社会の形成者として主体的に判断し行動する力を育てる社会科学学習のあり方

本年度主題解明のための方策（市教研社会科部会研究計画案より）

- ①児童生徒の学習意欲を高めるための学習指導と評価のあり方を明らかにする。
- ②児童生徒に調べ方や学び方を習得させる指導と評価のあり方を明らかにする。
- ③基礎的・基本的な内容の定着を目指した学習指導と評価のあり方を明らかにする。
- ④児童生徒の多面的・多角的な思考力を高めるための学習指導と評価のあり方を明らかにする。
- ⑤よりよい社会を築こうと意思をもって行動する力を育成する学習指導と評価のあり方を明らかにする。

本単元では、研究主題の中から次の二点に留意して指導および評価に取り組んできたい。

① 児童生徒の学習意欲を高めるための手だて

瑞穂小学校は花見川沿いに建っているが、海までは直線距離で約3 kmあり、漁業は身近な産業ではない。漁業や魚に直に触れる機会がなく、周りに漁業に携わっている人も少ない。そんな環境の中で「漁業で働く人々の工夫、努力を考えよう」といっても、そんな遠い世界の話には実感が湧かず、それと自分がどのようにかかわっているなどと考えられないだろう。子どもたちは、自分と魚との関係を知ったり漁のやり方を理解したりすることで、漁業を身近に感じ興味関心が高まると考えた。そして自分の問題として漁業の問題をとらえることができると考えた。

そこでまず、教科書の静岡県事例ではなく、千葉県漁業を取り上げることにした。千葉県は平成21年度の漁業養殖業生産高が全国6位であり、8位の静岡県と並んで漁業のさかんな県である。瑞穂小に近く、子どもたちにもなじみのある「ららぽーと」のすぐ近くにある船橋漁港や、昨年の水揚げ量が全国一位の銚子漁港、栽培漁業の種苗センターがあり初かつおの水揚げ量が全国一位の勝浦漁港など多くの千葉県の漁港を地域の素材として取り上げる。そうすることで、子どもたちはより漁業を身近に感じ、興味を持てると思った。千葉県を事例として取り上げるが、日本全国の漁港で同じような工夫や努力が行われていることも確認したい。

次に実物や本物の教材を紹介する。グラスファイバー製の本物のかつお一本釣り用の釣り竿を見せ、かつお一本釣りの疑似体験をさせることで、関心を持てるようにした。また、かつお節、かつお出汁や木更津の海苔を試食することで、普段自分たちが食べている食べ物は水産業に関係することを理解し、身近なものだと関心を高めるようにしたい。

② よりよい社会を築こうと意思をもって行動する力を育成するための手だて

本学級の子どもは、基礎学力が身に付き、積極的に調べ学習などに取り組む子が多い。しかし校外の大人や先生以外の大人と接するときには消極的で、質問したいことが言えない子、思ったことをしっかり話せない子も多い。またテレビや新聞のニュースを身近に感じている子も少ないようである。そのため、進んで社会や人とのつながりを持ちながら学習をさせたいと考えた。

そこで、漁業者をゲストティーチャーとして招聘する学習を展開していく。単元の導入で漁協の〇〇さんに漁業の話聞き、疑問や課題を子どもに持たせたい。学習の途中では、〇〇さんへ質問を送りビデオレターで返事もらったり、水産業に携わる〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんからのビデオレターを見たりして、社会とのつながりを大切にしながら学習を展開させていく。単元のまとめでは、〇〇さんに今までの学習で分かったことや、水産業に対する認識の変化などを手紙に書いて送りたい。単元を通じて、水産業に携わる人と触れ合うことで生きた社会を実感させたい。

このように社会とつながりのある学習を通して、現在の日本の漁業のあり方や漁業者の工夫・努力について自分の意見を持てる子どもを育てたい。本単元の学習を通して、社会の一員として主体的な態度で学習に臨み、学習で学んだことを実生活に生かせる子どもにしたい。

8 本時の指導（7／11）

（1）目標

○ゲストティーチャーから話を聞いて、海苔の養殖業に携わる人の工夫や努力を理解する。

（2）展開

学習活動と内容	教師の指導と支援 ☆評価の観点(支援◎)	資料等
<p>1 海苔の養殖業の流れをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海苔は種付けをして育てるのだったね。 ・海苔の養殖業は冬に行われるのだね。 	<p>○前時までに学習した海苔の養殖業の仕事の内容について、写真を見ながら振り返る。</p>	<p>・海苔の養殖業の流れの写真</p>
<p>2 木更津産の海苔を試食し、味や香りについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この海苔は海の香りがするね。 ・なめていると、口の中で溶けるね。 ・木更津産の海苔っておいしいね。 	<p>○「おいしい海苔は口の中でふわっと溶ける」と教えてくれた〇〇さんの言葉を思い出すよう促す。</p> <p>○すぐに飲み込むのではなく、舌の上で味わうよう指示する。</p> <p>○パッケージがいつも食べている海苔の袋とは違うことに言及する。</p>	<p>(試食)</p> <p>・海苔</p> <p>(前時までの掲示物)</p> <p>・赤潮の写真</p>
<p>3 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>のりの養しょく業をしている人たちはどのような工夫や努力をして、おいしいのりを作っているのだろう。</p> </div>	<p>○海苔の養殖業も大切な「作り育てる漁業」の一つであることを確認する。</p>	
<p>4 班ごとに海苔養殖業にかかわる人になんかことをインタビューするか、相談してまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海苔の養殖業では、寒い時期に収穫していて大変じゃないのかな。 ・海の水がいつもきれいであるように、気を付けているのかな。 ・跡を継いでくれる人はいるのかな。 ・養殖に失敗することはないのかな。 	<p>○前時で学習した海苔の養殖業の仕事内容から疑問に思ったことを出し合うことを確認する。</p> <p>○どんな質問をしたら、生産者の工夫や努力につながるか、予想しながら質問を考えることを確認する。</p> <p>◎養殖業にかかわる人の工夫や努力にこだわらず、質問していいことを確認する。</p>	
<p>5 2つのグループに分かれ、インタビュータイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤潮になったら、どんなことをしますか。 ・木更津の海苔の種は、ほかの海苔の種とどのように違うのですか。 ・一枚の海苔ができるまでに、どれくらいの時間がかかるのですか。 ・おいしい海苔を作るために、どんな工夫をしていますか。 ・木更津の自然条件をどのように生かして 	<p>◎16人と19人のグループにすることで、ざっくばらんにインタビューができるような場を設定する。</p> <p>○9つの班を2つのグループに分けることを確認する。</p> <p>◎ゲストティーチャーの〇〇さん、〇〇さんにはそれぞれのグループに入ってもらい、グループごとにインタビューを行う。</p> <p>○工夫・努力以外にもいろいろなインタビューをして話を聞く中で、海苔養殖業の工夫</p>	

<p>いますか。</p> <p>6 班ごとに、養殖業をしている人の工夫や努力のなかで、一番印象に残ったことを画用紙に書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海苔の病気を防ぐため、冷蔵庫に入庫して海苔芽を冬眠状態にする」と言っていたけれど、それはおいしい海苔を作るための工夫だよね。 ・海苔の収穫は一回だけではなくて、何度もすると柔らかい海苔になるっていつてたな。それが一番印象に残ったな。 <p>7 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>のりの養しょく業をしている人たちは、ていねいな管理をして、おいしいのりを作っている。</p> </div> <p>8 子どもたちの発表について、ゲストティーチャーから感想をもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命に話を聞いてくれて、海苔の養殖業の努力をよく理解してくれてうれしかったです。 ・これからもおいしい海苔を作るから、これからもたくさん食べてくださいね。 	<p>や努力に気付くように支援する。</p> <p>○インタビューしていく中で新たに質問が出たときは、どんどん質問してよいことを確認する。</p> <p>◎班ごとに特に心に残った工夫や努力を一つだけ書くように指示する。</p> <p>○書けた班から、黒板に掲示する。</p> <p>○学習のまとめにつながるところを取り上げながら、いくつかの班のわかったことを紹介する。</p> <p>☆海苔の養殖業に携わる人の工夫や努力を理解している。(画用紙)</p> <p>○自分のことばで、今日の学習をノートにまとめるよう指示する。</p> <p>○早く書き終わった子どもには、「社会科学習振り返りカード」を記入するよう指示する。</p> <p>○何人かを指名し、学習のまとめの共通理解を図る。</p> <p>○2人の先生にそれぞれ一言ずつもらう。</p> <p>○全員でお礼を言うよう伝える。</p> <p>○授業が終わったら、お話を聞いたゲストティーチャーのところへ行って、今日の授業の感想やわかったこと、お礼を伝えられるといいことを確認する。</p> <p>○次時は、海苔以外の養殖業と栽培漁業について学習することを伝える。</p>	<p>四つ切り画用紙、マジック</p>
--	--	---------------------